
令和元年6月27日 草津市協働のまちづくり推進本部会議

開催日時 令和元年6月27日(木) 午前9時20分～午前9時40分

開催場所 庁議室

出席者 市長、山本副市長、北中副市長、教育長、政策監、総合政策部長、総合政策部理事(公社担当)、総合政策部理事(草津未来研究所・行政経営担当)、危機管理監、総務部長(兼法令遵守監)、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、健康福祉部理事(健康福祉政策担当)、子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長、監査委員事務局長

欠席者 なし

議事概要 下記のとおり

2. 協議案件

(1) 計画策定に向けたスケジュールについて

【事務局】

<資料1に基づき説明>

【主な質疑・意見】

・地域円卓会議は有効な手法だと考えるが、年間を通じて1回でいいのか。時期をずらして、複数回実施しないのか。

→今回はきっかけづくりとして取り組むため1回の実施となる。市民参加は政策過程の各段階で相応しい手法を選択することとしている。当手法は、政策段階の初期の段階で実施することが望ましい性質であるものから、今回はこの時期での実施を予定している。意見があったように、その他の段階でも対応できることが見えてきたら対応する。

・推進評価委員会と協調して取り組むという説明があったが、どのようなイメージを持っているか。

→一般的には諮問と答申という手続きが取られているが、当委員会では市民が主体という観点を基に、諮問と答申の手続きを取らず、委員とともに協働して計画を策定する予定をしている。

・附属機関としての位置づけとは異なるのか。

→附属機関である。スケジュールについて再度検討する。

・公開型パブコメは委員会が実施するということか。

→その通り。

・市としてのパブコメはいつ実施するのか。

→市が実施するパブコメは矢印で示している1か月を考えているが、公開型パブコメの位置づけに関しては改めて検討する。

委員会から成案をいただいて、市でパブコメを実施するスタイルをとるべき。

→再度検討する。公開型パブコメの名称についても再度検討する。

3. 報告案件

(1) 職員の協働・市民参加に対する意識調査結果

【事務局】

<資料2に基づき説明>

【主な質疑・意見】

特になし

(2) 第2次草津市協働のまちづくり推進計画策定に向けて

【事務局】

<資料3・4に基づき説明>

【主な質疑・意見】

特になし

このページのお問合せ

草津市まちづくり協働部 まちづくり協働課 市民活動推進係

電話 077-561-2337 FAX 077-561-2482

メール machi@city.kusatsu.lg.jp